

計 算 基 準

	洋紙(1,000枚建)	板紙(100枚建)
連量(kg)	面 積(m ²)× 米 坪 量(g/m ²)× $\frac{1000}{1000}$	面 積(m ²)× 米 坪 量(g/m ²)× $\frac{100}{1000}$
米坪量(g/m ²)	$\frac{\text{連 量 (kg)} \times 1000}{\text{面 積 (m}^2\text{)} \times 1000}$	$\frac{\text{連 量 (kg)} \times 1000}{\text{面 積 (m}^2\text{)} \times 100}$
寸法	ミリメートル (mm)	センチメートル (cm)
面積	平方メートル単位として小数点4位を四捨五入し3位で留める 但しB/4仕立は小数点5位を四捨五入して4位で留める	同左
米坪量	小数点2位を四捨五入し1位で留める	400g/m ² 以上は50g毎を単位とする 400g/m ² 以下は10g毎を単位とする
連量	(イ)小数点1位を二捨三入七捨八入して整数又は0.5kg単位とする (ロ)洋紙B/4仕立は小数点2位を二捨三入七捨八入して整数又は0.05kg単位とする (ハ)小数点2位を四捨五入して1位に留める 薄葉紙(タイプ用紙グラシン紙等)及び雑種紙等に適用	(イ)同左 (ロ)米坪量200g/m ² 以下のものは小数点2位を四捨五入して1位に留める場合もある
連量の表示	◇	△

巻取紙に関する算式

- ◇ RW……………巻取の実重量(kg)
- ◇ CW……………芯棒・ワンプ等此装用具の重量
- ◇ W……………巻取の紙の実重量(RW-CW)(kg)
- ◇ w……………巻取の巾(m)
- ◇ s……………米坪量(g/m²)
- ◇ D……………巻取の外径(m)
- ◇ d……………芯棒の直径(m)
- ◇ t……………紙 厚(m)
- ◇ L……………巻込み全長(m)
- ◇ π……………3.1416

- 一. 所定の芯棒に所定の米坪量の紙を、所定の長さ巻いた場合の巻取の総重量を知る方法。

$$\frac{s w \times L}{1,000} + CW = RW$$

- 二. 所定の芯棒に所定の厚さの紙を、所定の長さ巻いた場合の巻取の外径を知る方法。

$$D = \sqrt{\frac{4 t L}{\pi} + d^2}$$

- 三. 所定の芯棒に巻いた所定の米坪量の巻取から、その巻込みの全長を知る方法。

$$L = \frac{RW - CW(W)}{s w} \times 1,000$$

- 四. 所定の芯棒に巻いた所定の紙厚の紙の巻取から、その巻込みの全長を知る方法。
(所定の芯棒に所定の紙厚の紙を所定の巻取の外径にするには、その巻込の全長)は如何にするか。

$$L = \frac{\pi (D^2 - d^2)}{4 t}$$